

久万高原町の高齢化の進展予測などについて
話す川北さん



少子高齢化社会
課題克服考える
久万高原で公開講座
少子高齢化が進む中
での課題克服を考える

「久万高原生きかた創造塾」の公開講座が27日、久万高原町久万の町産業文化会館であり、町内の福祉関係者ら約300人が、住民

主導による地域の問題解決などを学んだ。

塾は、町社会福祉協議会が8年ほど前から開催。「人と組織と地球のための国際研究所」（東京都）代表の川北秀人さんが「自治を回復し、まち・むらの課題を、まち・むらの力で解決するために」と題して講演した。

川北さんは町内の高齢化の進展状況などを詳しくデータで紹介。75歳以上の1人暮らし世帯の割合が全国平均より高いことなどを示した上で「全国と比べて何十年も早く進んでいる。お年寄りの見守りや配食などを、国に先駆けて取り組んでいかなければならない」と訴えた。

島根県雲南市で地域のごまごまな組織を一元化した事例などを取り上げ、「イベントの会議などに多くの時間を費やすのではなく、住民の時間を最大限に活用することが必要。イベント型からサービスタイプのまちづくりへの転換を総力を挙げて進めてほしい」などと話した。（柳生秀人）